

## 賀詞交歓会

## 2026年JAIPA賀詞交歓会

2026年1月26日（月）18：00よりホテルルポール麴町において当協会の賀詞交歓会を開催し、会員および来賓・招待者・総務省関係者等、合計163名にご参加いただきました。穏やかな新春の雰囲気の中、和やかなひとときとなりました。

冒頭、久保会長の挨拶にて、業界の現状や今後の展望、当団体の活動への抱負が述べられました。

また、長年にわたり当団体の運営に尽力され、3月に退任される木村事務局長より挨拶があり、これまでの支援への感謝の言葉が述べられました。あわせて、4月から新たに事務局長に就任される植田氏の紹介も行われました。木村氏へは、感謝の意を込めて記念品と花束が贈呈されました。

監事の金子氏による乾杯のご発声のちは歓談の時間となり、参加者同士で新年の挨拶や情報交換が行われるなど、終始和やかな雰囲気のうち閉会となりました。本年も会員相互の交流を深め、業界の発展に寄与してまいります。



久保会長



木村事務局長



木村事務局長への花束贈呈



植田氏



## 主な行事一覧

[https://www.jaipa.or.jp/active/active\\_index.php](https://www.jaipa.or.jp/active/active_index.php)

10月23日(木)～24日(金) 第60回JAIPAの集いin奈良

11月6日(木) Cloud Conference 2025

12月4日(木) 広報PR部会主催

「エグゼクティブトーク&クリスマスパーティー」

12月18日(木)～19日(金) SecurityDay2025（熱海）

1月26日(月) 2026年賀詞交歓会

## 役員一覧

<https://www.jaipa.or.jp/about/director.php>

## 会員企業一覧

<https://www.jaipa.or.jp/member/>

## 全国プロバイダー一覧

<https://www.jaipa.or.jp/isp/>

## 当協会の意見

<https://www.jaipa.or.jp/comment/>

## イベント報告

## 第60回 JAIPAの集い in 奈良

開催日：2025年10月23日(木)・24日(金)

場 所：奈良市ならまちセンター

後 援：奈良県・奈良市・近畿総合通信局

協 賛：GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社、  
セイコーソリューションズ株式会社、テルストラ・ジャパン  
株式会社、一般社団法人日本ユニファイド通信事業者協会  
(JUSA)、BBIX株式会社、三井物産セキュアディレクション  
株式会社、Curvature Solutions Japan合同会社、株式会社  
Jストリーム、株式会社ファミリーネット・ジャパン

参加者：188名

<https://www.jaipa.or.jp/topics/2025/09/60jaipain.php>

2025年10月23日(木)・24日(金)の二日間に渡り、通算60回目の節目となる「JAIPAの集い in 奈良」が開催され、延べ188名の方にご参加いただき無事終了いたしました。



プログラムは、後援の奈良県・奈良市のご挨拶から始まり、通信やセキュリティにおける変化と課題の共有、政策やガバナンスに関わる報告、奈良県/奈良市におけるDX化の取り組み、インターネッ

トを用いた教育の現在・未来と地方ごとの課題ディスカッション等、多岐にわたる発表や議論が熱く行われました。

今回の集いでは、新たな試みとして、

- ・JAIPA初心者向けセッション
- ・若手による「モバイル部会-海外調査報告」が行われ、大変好評を博しました。

また、「セキュリティWG」の発足報告や、「ゲーム・エンタメNW接続性課題検討WG」の活動紹介もあり、若手をはじめとしたJAIPAへの新規参加を積極的に呼びかけるプログラムもありました。

両日の集いの後に開かれた懇親会も多くの方にご参加いただき、集いからの盛り上がりそのままに新たな交流の場となりました。

ご参加いただいた皆様、JAIPAの集いin奈良の準備にご尽力くださった、プログラム委員の皆様、各登壇者様、協力・協賛会社・後援の皆様へ深く感謝いたします。



広報PR部会 大川 裕子

## イベント報告

## JAIPA Cloud Conference 2025

## 1. 開催概要

2025年11月6日、ネットワンシステムズ様の協力のもと、netone valley (V-HALL) にて「JAIPA Cloud Conference 2025」を開催しました(2013年開始以来12回目)。

テーマは「AI時代を勝ち抜くための、国産クラウドの進化のカギ」。政府・自治体・企業・研究機関・法律実務家が登壇し、政策・産業・技術・法制度を横断した議論が行われました。

## 参加状況

- ・申込：472名
- ・会場参加：312名
- ・アーカイブ視聴：170名

前年より総参加規模は減少しましたが、会場参加率は一定水準を維持しました。

## 2. 参加者・市場環境

参加者の約50%が係長以上の役職者。業種はクラウド事業者、SIer、通信、セキュリティ、MSP、製造業、公共関連など。一方、クラウド市場は成熟段階に入り、市場関心は生成AIなどAIサービス領域へ拡大しています。

## 3. 満足度およびNPS

NPSは13.2(初計測)。

アンケートでは政策・制度テーマの評価が高い一方で、導入事例や実装フェーズに関する情報ニーズも確認されました。

## 4. コンテンツ評価と関心領域

## 評価上位セッション

- ・経営者パネルディスカッション

- ・NICTセキュリティセッション
- ・AI新法セッション
- ・デジタル庁・経済産業省セッション

## 関心領域

- ・業界の方向性(経営視点)
- ・セキュリティ・安全保障
- ・AI制度と実務影響

AI・制度・安全保障と結びつく議論への関心が高い結果となりました。

## 5. スポンサー・後援団体との連携

スポンサー45社、後援団体21団体(いずれも前年超)。本開催にあたり、多大なるご協賛を賜りましたスポンサー企業の皆様に心より御礼申し上げます。また、広報面をはじめご協力いただいた後援団体の皆様にも深く感謝申し上げます。

## 6. 総括

クラコン2025は、政策・産業・技術を横断する議論の場として一定の成果を上げました。一方で、参加規模やNPSの結果からは、環境変化の中での立ち位置も明確になりました。

AI市場拡大や安全保障意識の高まりの中、クラウドを巡る議論はインフラからエコシステム全体へ広がっています。本イベントは、そうした環境変化の中でクラウド事業の現在地を共有する機会となりました。

JAIPA Cloud Conference 2025 実行委員長  
寺尾 英作

## 部会報告

### モバイル部会 海外調査

日時：2025年6月16日(月)～18日(水)

場所：タイ（バンコク）

参加メンバー：8名

モバイル部会では、国内にとどまらず海外の通信制度や市場動向を把握することを目的に、海外調査を継続的に実施しています。今回はタイのバンコクを訪問し、現地の規制当局や通信事業者、業界団体を訪問する海外調査を行いました。

政府機関の制度設計に対する考え方や、MNO・MVNO各社の取り組み、固定通信やISPを含む通信マーケット全体の状況について、日本との違いを意識しながら調査を進めました。現地でしか聞くことのできない関係者との意見交換を通じ、移動体・固定通信の双方に関する理解を深める機会となりました。

訪問にあたっては、NBTCをはじめ、MNO、MVNO事業者、国有事業者、業界団体など複数の組織を訪問しました。事前には訪問先との調整や机上調査、質問表や説明資料の作成・英訳、工程表の策定などを行い、限られた日程の中でも充実した調査ができるよう準備を



は訪問先との調整や机上調査、質問表や説明資料の作成・英訳、工程表の策定などを行い、限られた日程の中でも充実した調査ができるよう準備を

重ねました。

現地では多くの方々に温かく迎えていただき、貴重なお話を伺うことができました。また、タイのモバイル市場を知ることによって日本の市場をあらためて見つめ直すきっかけにもなり、新たな気づきを得る有意義な調査となりました。

今回の海外調査の実施にあたっては、モバイル部会メンバーをはじめ、多くの皆さまにご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。

海外調査は今後も継続して実施していく予定です。現地ではか得られない気づきや議論を通じて視野を広げる貴重な機会となりますので、ご関心のある方はぜひモバイル部会の海外調査にご参加ください！

モバイル部会 大山 遼佳



## 部会報告

### エグゼクティブトーク&クリスマスパーティ

2025年12月4日（木）、JAIPA（日本インターネットプロバイダー協会）広報PR部会主催の恒例イベント「エグゼクティブトーク&クリスマスパーティ」が、セイコーソリューションズ株式会社様よりご提供いただいた東京本社のセミナールームにて開催されました。

#### ◆第1部：エグゼクティブトーク（17:00～19:00）

第1部では、BBIX株式会社代表取締役社長兼CEOの佐々木幸氏と、レンジャーシステムズ株式会社代表取締役の成田翔一氏の2名にご登壇いただき、これまでの人生の歩みや事業への熱い想いを語っていただきました。



佐々木氏は、ご自身のモチベーションマップを提示し、オーストラリア留学が人生のターニングポイントとなったエピソードを披露されました。

成田氏は、通信事業者を裏から支える「ネットワークインテグレーター」としての矜持や、会社主催のイベントなど紹介されました。またJAIPAへ入会するきっかけや



未来の展望も語られました。

18時からは「酔いどれセッション」として進行し、来場者の質問にもごつくばらんにお答えいただき、会場は大いに盛り上がりしました。

#### ◆第2部：クリスマスパーティ（19:00～21:00）

第2部では、参加者同士の親睦を深めるクリスマスパーティが行われました。

毎年恒例となっている2,000円程度の持ち寄りによるプレゼント交換も実施され、和気あいあいとしたあたたかい雰囲気の中で交流の輪が広がりました。

今回は広報PR部会高橋さんがギターとアンプを持参しミニクリスマスコンサートでみんなでクリスマスの曲を歌いました。



最後に、素晴らしい会場のご提供と、ケータリングのご紹介をいただいたセイコーソリューションズさんに心より感謝申し上げます。

今回のイベントもかなり内容の濃いお話でしたので今後さらに多くの方にエグゼクティブトーク&クリスマスパーティへご参加いただけることを期待しております。

広報PR部会 井口 和彦



## 部会報告

## セキュリティワーキンググループ発足

セキュリティとネットワークそれぞれが専門である複数事業者(=JAIPA会員)が、普段得られないような情報や知見を共有することで、顧客/企業とインターネット通信網の中で起きる現場のセキュリティインシデント解決につながる運用面での情報交換や議論が実施され、かつ議論の有意義な情報が総務省又は業界団体と共有できる事を想定してスタートしました。

WG設立の目的は大きく以下のとおりです。

- JAIPA会員のセキュリティ向上に資する情報の提供による会員のセキュリティレベルの底上げ
- 総務省や業界団体におけるセキュリティに関わる会議体に参加する知見を有する会員の育成
- 会員からのセキュリティ・インシデント対応の相談の窓口
- セキュリティ関連事業者などのWG参加による会員層の拡大
- JAIPA会員企業への会員企業のお客様からのセキュリティに関する問い合わせの情報提供窓口



本WGは、JAIPA会員以外のさまざまなセキュリティ関係企業様にもご参加頂き、幅広く情報共有をすることで参加された方々がセキュリティに関連する知見を広めるWGとして立ち上げました。

JAIPAでもセキュリティの知見を有する人材の参加が求められている中で、今後の動向としては直面するセキュリティ脅威を明らかにしたうえで、参加者各位の知見を共有して一つでも多くの解決策を共有して成果を創出していきます。

セキュリティワーキンググループ 矢内 伸良

## 部会報告

## 「AIワーキンググループ」活動報告

2024年11月にキックオフしたJAIPAのAIワーキンググループ(AI WG)は、発足から約1年半が経過しました。現在は毎月第2木曜日17時から定例会を開催しており、20~30名程度がハイブリッド形式で参加しています。会議後には懇親会も行い、会員企業間の交流や情報交換の場としても活発に活用されています。

定例会では、参加企業によるAI活用事例の共有や、有識者を招いた勉強会を中心に活動しています。これまでに、総務省のAI事業者ガイドライン担当者、デンソーのロボット分野の専門家、中央大学の実績教授などをお招きし、AIの政策・技術・産業動向について学ぶ機会を設けてきました。また、毎月のAI関連ニュースについても議論し、急速に進展するAI分野の最新動向を共有しています。

人材育成の取り組みとしては、JAIPA AI CONTEST (JAICON) を昨年11月から約2か月間実施しました。さくらインターネット株式会社の協力によりGPU環境を提供いただき、OSSのLLMをファインチューニングして独自のアプリケーションを開発するコンテストを開催しました。10名の参加者が3チームに分かれ、それぞれ独創的で興味深いAIアプリケーション

を開発しました。本コンテストは今後も継続して開催していく予定です。

またAI WGでは、勉強会や人材育成にとどまらず、政策提言にも取り組んでいます。令和7年12月には、内閣府知的財産戦略推進事務局が募集した「生成AIの適切な利活用等に向けた知的財産の保護及び透明性に関するプリンシプル・コード(案)」に対し、インターネット事業者の視点から意見書を提出しました。

2026年からは運営体制を強化し、InfiniCloud株式会社 瀧康史氏、ドコモビジネス株式会社 内山貴允氏、さくらインターネット株式会社 角俊和氏を副主査として迎え、技術面・ビジネス面の双方からより深い議論を進めていきます。

AI技術は、インターネット産業の構造やサービスのあり方を大きく変える可能性を持っています。AI WGでは、会員企業間の連携を通じて知見を共有し、人材育成や政策提言などの活動を通じて、日本のインターネット産業とAIエコシステムの発展に貢献していきたいと考えています。ご興味のある方は、ぜひAI WGの活動にご参加ください。

AIワーキンググループ主査

宮内 正久



## 政策動向／業界動向

### ブロードバンドユニバーサルサービス

2022年の電気通信事業法の一部改正（※）に基づき、ユニバーサルサービスについて、既存の電話サービスに加えてブロードバンドサービスが対象となり、総務省はじめ関係者において課題整備・検討が進められていることは、前号でお伝えしたとおりです。

昨年10月20日にTCAから総務省へ認可申請された後、同年12月9日に認可され、2026（令和8）年度の単価が「2円／回線／年」と決定しました。ブロードバンドサービスを提供する事業者の観点では、2026年3月31日現在における負担事業者の算定対象回線数を基に徴収されることとなります。

今後、残っている課題としては、単価の見直しとともに、最終保障提供責務の具体化があります。最終保障提供責務については、総務省ユニバーサル政策委員会で継続議論されておりますが、端末回線設備設置事業者に影響が有り得るため、当協会も継続して制度議論に関与していく予定です。

（※）「電気通信事業法の一部を改正する法律」（令和4年法律第70号。2022年6月公布・2023年6月施行）

### JAPANローミング™

非常時における通信手段の確保を目的として、MNO4社による「JAPANローミング™」が開始されます。災害などで契約先のMNO（被災事業者）のネットワークが利用できなくなった場合に、他のMNO（救済事業者）の設備に切り替えて4G通信を可能とする仕組みです。

災害などによる通信の障害状況に応じて、緊急通報（110/119/118）のみが利用可能な「緊急通報のみ方式」と、音声電話・データ通信も利用可能な「フルローミング方式」の2種類があります。

対応機種に例外がある、あらかじめ端末上でデータローミング設定を有効にしておくといった条件がありますが、このほかに発信者番号通知（184/186）を伴った場合の例外的な取扱いがあるため、MVNOとなるJAIPA会員においては、通信の秘密に関する同意を事前に得ておく必要があります。同意の取得は包括同意で良いとされていますので、ユーザ約款（規約等、名称を問わない。民法でいう「定型約款」）の改定や、ユーザへの周知が求められます。

### 情報流通プラットフォーム対処法

2002年から施行されたプロバイダ責任制限法（正式名称「特定電気通信役務提供者の損害賠償責任の制限及び発信者情報の開示に関する法律」）は、所要の改正を経て、2025年5月にプラットフォーム事業者の責任を強化することを内容とした法改正が施行され、伴って法律名称も変更となりました（情プラ法。正式名称「特定電気通信による情報の流通によって発生する権利侵害等への対処に関する法律」）。

この法改正にあたっては衆議院で10項目から成る附帯決議がなされており、このうちの1つに「本法附則第2条に定める施行後5年の見直し時期以前であっても、必要に応じてこの法律による改正後の規定の施行状況について検討を行い、その結果を踏まえ、迅速に所要の措置を講ずること。」とあります。総務省殿においてはこちらを基に検討を始めるものと見られますので、当協会でも行政法律部会を中心として、より良い法改正となっていくよう、今後、総務省殿と検討を深めていく必要があると考えています。

### ほか総務省会議関係（NTTメタル電話縮退）

2025年11月17日、総務省情報通信審議会・電気通信事業政策部会の配下の会議、「固定電話サービス移行円滑化委員会（第3回）」において、JAIPAからプレゼンを実施しました。主として、メタル縮退に伴って我々の工事依頼その他に影響がないか、NTTの利用部門と同等の情報提供を確保頂きたい、今電話だけご利用のお客様に対してはインターネット接続を勧めて頂きたい、といった内容としました。まずはエリアを絞って先行して移行をトライアル的に実施して後、2028年頃から本格的な移行を実施する、とNTT東西殿は発表しており、当協会もJAIPA会員にどのような影響があるか、引き続き政策議論に関与していきます。

政策WT主査 濱谷 規夫

## 会員企業紹介

### ◆ 関越ネットワークシステム株式会社

関越インターネットは、1996年の創業以来「カンネット」の愛称で親しまれ、おかげさまで今年、30周年を迎えます。

私たちの原点は、創業当初から大切にしてきた「コミュニケーション&サポート」です。単なるインターネット接続サービスにとどまらず、レンタルサーバーやネットワークの構築・保守、Webサイト制作、近年ニーズが高まっているSNS活用のご相談まで、ITに関する幅広いサポートを行っています。

最大の特長は、デジタルに不慣れな方でも安心して相談できる「顔の見えるプロバイダー」であることです。来店・電話・出張サポートなど、お客様一人ひとりの状

況に合わせた対応を心がけ、ITの困りごとを身近に解決できる存在として信頼をいただいています。

また、毎年9月に開催される「沼田花火大会」ではライブ中継を担当するなど、技術を活かした地域貢献活動にも取り組んでいます。

これからも確かな技術と親身な対応を大切に、地域のITインフラを支えながら、皆様の暮らしに寄り添う存在であり続けたいと考えています。

Communication & Support  
**Kannet**



### ◆ NTTPCコミュニケーションズ株式会社

NTTPCコミュニケーションズは、1985年のNTT民営化を契機に、パソコン通信事業立ち上げを目的に誕生しました。

1995年にはインターネット接続サービス「InfoSphere」の提供を開始し、ネットワーク黎明期から日本の通信インフラを支え続けてまいりました。創業以来、「すべてのパソコンのネットワーク化を実現する」をミッションに掲げ、エンジニアリングからファシリティまで国内トップレベルの技術力を強みに、ネットワークを中核とした先進的なサービスを展開しています。

昨年、創立40周年という節目を迎え、

現在は“第二創業”として全社でAIファーストを推進。長年培ってきたInfoSphereのネットワーク基盤と運用ノウハウを礎に、運用高度化を支援する「Prime ConnectONE」をはじめ、生成AI基盤構築や健康経営支援などの取り組みを通じ、今後も社会課題の解決とお客さまの業務改善に貢献してまいります。

InfoSphere WebARENA

Prime ConnectONE

Master's ONE みまもりがじゅ丸



URL : <https://www.nttpc.co.jp/>

### ◆ 株式会社シナプス

私たちシナプスは、1995年の創業以来ずっと鹿児島のみなさまに寄り添って歩んできたISPです。「インターネットで、鹿児島の毎日を笑顔にします。」という経営理念を胸に、安心して使えるネット環境づくりはもちろん、日々の小さなお困りごとにも気軽に頼っていただける存在でありたいと“本気で”考えながらサービスを続けてきました。ご家庭のネット回線から地域の事業者さまのICT活用まで、幅広いご相談にお応えできるのは、地元ならではの距離の近さと親しみやす

さを大切にしてきたからこそだと感じています。

2025年にはサービス開始から30周年という節目を迎え、「シナプッシュ！ーシナプスはズーッと鹿児島推し！ー」をキャッチフレーズに、これまで支えてくださった鹿児島の皆さまへの感謝の気持ちを込めたイベントを行っています。

これからも変化の多い時代の中で、毎日を笑顔で迎えながら、鹿児島の暮らしがもっと便利で楽しくなるよう、インターネットの力を信じて地域に貢献してい

だから安心、シナプス。

**SYNAPSE**

たいと考えています。

また、地域に根ざした企業として、これからもお客様とのつながりを大切にし、新しい価値を共につくりながら、鹿児島の未来に役立つ存在であり続けます。



## 新規入会会員紹介

■バリオセキュア株式会社  
<https://www.variosecure.net/>

■株式会社マクドナルド商会  
<https://j-macdonald.com/>

■Blackwall株式会社  
<https://blackwall.com/>

■株式会社GLBBジャパン  
<https://www.glbb.jp/>

(2025年10月～2026年3月)

## ～ People People ～

Jストリームの高見澤です。朝日ネットのジョージさんからPeople Peopleの執筆依頼をいただきました。みなさん、どんなこと書いてらっしゃるのかなと思い、Webに載っているPDFを拝見しましたが、いろいろな方が話題豊富に書いてらっしゃるんですね。私でいいのか?!ちょっと緊張していますが、まずは自己紹介とJAIPAの繋がりから書いていきたいと思います。

新卒でJストリームに入社しまして、もうすぐ20年になります。Jストリームは、1997年の設立以来、自社構築のCDNをサービス基盤に、企業の動画配信を技術で支えてきた会社です。その中で私はネットワークエンジニアとしてデータセンターネットワークや対外接続などの設計、構築から、ロードバランサーのリプレースなどのネットワークのお仕事を中心にエンジニアしていました。Jストリームは動画がお仕事の中心ですので、マルチキャストネットワークや海外向けの映像配信サービス、映像伝送など、動画に関連する仕事も多く楽しくやってきました。動画配信に関わって早や20年という感じですが、最近ではCDNのプロダクト戦略を作ったり、設備設計したりというお仕事が大部分になりました。

当社（株式会社Jストリーム）がJAIPAに入会させていただいたのは、2022年です。私にとっての最初のJAIPAのイベント参加は「JAIPAの集いin畷」でした。仕事で船に乗ることもあるのか（笑）と思いつつ、顔見知りの方があまりいなあーと不安になりながら、参加したことを覚えています。

懇親会後の二次会も公式でセッティングされているのですが、二次会の目の前が晋山さんだったり、宮内さんに声をかけていただいたり、話しかければ一気に仲良くなれるのですよね。これで一気にJAIPAの楽しみ方を覚えまして、次回も参加するには！ということで、次回の盛岡から実行委員に立候補させていただきました。

集い繋がり、先日の奈良では「JAIPAの歩き方」というプログラムを企画させていただきました。インターネットはつながるだけで楽しい時代は終わってしまい、どう若手に楽しさを伝え業界を盛り上げていくのか。非常に重要な課題だと感じています。その中で会社を超えた縦横のつながりを作るJAIPAの果たす役割は大きいと思います。プログラムでは若手の方々にも重鎮の方々にもいっぱい発言していただき、初参加の方々にも少しでもJAIPAの楽しみ方を知っていただけたのではないかと思います。

さて、自社CDN事業とJAIPAの関係でいうと、地上波放送がIPで見られるようになり、インターネット上で配信されるコンテンツは飛躍的に増加しています。CDNはコンテンツを如何に効率よく配信するかがポイントです。そのために「コンテンツ/CDNトラフィックWG」に参加し、ISPの方々と情報交換、

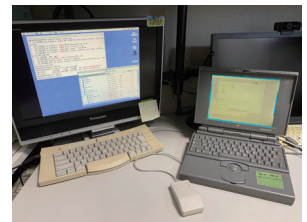
議論させていただける場合は貴重だと感じています。

一方で、2024年のデジタル分野における国際収支は約6.7兆円の赤字に達しています。今後想定されるサイマル放送におけるブロードバンド代替の普及や、政府機関の情報配信における安全保障の観点からも、国内配信基盤の強化は喫緊の社会的課題と認識しています。こういった議論を行う場としてもJAIPAの役割は大きく、今後も活発に活動していきたいと思っています。



最後にちょっと趣味のお話を。時間があるとコンピューターをいじっているタイプですが、好きなネタとしては、ネットワーク（特にDNS: Domain Name System）と動画配信ですね。家のネットワークを冗長構成にしてみたり、映像伝送用のプロトコルを使って動画配信をしてみたり、そんな休日を過ごしています。

そんな中で、コロナ禍でハマってしまったのが古いコンピューターの再生です。憧れのPower Macintosh 9500をヤフオクで買ってパワーアップして使い出したところから始まり、昔使っていたPowerBook150（モノクロ4階調液晶）の切れたバックライトを交換したり、ピネガーシンドロームになった偏光版を交換して映るようにしたり、そんなことをしている内に、自分の部屋は古いコンピューターと修理部品で溢れてしまっています。。



古い機械だけだとできることは限られますが、最新のLinuxとネットワークで繋ぐことで、ファイルサーバー上の広大な記憶領域が使えますし、最新のプリンターに印刷だってできます。（もちろんインターネットには繋げませんが）

JAIPA以外でも業界横断のプロジェクトに参加したり、イベントで喋ったり、地域NOGで学生さんと動画配信をしたり、と様々なところにも顔を出しています。昔話も技術ネタも好きです。こんな私ですが、JAIPAの皆様、よろしくお願ひします。

Jストリームエンジニア向けBlog「Voice」  
<https://voice.stream.co.jp/>  
 コンテンツ/CDNトラフィックWG  
<https://www.jaipa.or.jp/active/contentcdn-wg/>

株式会社Jストリーム 高見澤 信弘

## information

## ■JAIPA活動への参加のご案内

JAIPA（一般社団法人インターネットプロバイダ協会）はインターネットプロバイダーからなる日本で唯一の業界団体です。

- ・インターネット接続サービス（ISP）事業者
- ・クラウド、ホスティング事業者
- ・セキュリティや情報通信インフラ構築等の各種サービスを提供する事業者

など、インターネット関連事業者で構成されています。

事業間のネットワークを広げ、事業運営に役立つ情報を得ることができます。より多くの方と力を合わせ、業界課題の解決に取り組みたいと考えております。ご興味・ご関心のある方は、お気軽にお問合せください！

お問い合わせ：info@jaipa.or.jp

## ■見るだけでも危険！

ファイル共有ソフトの危険な誘惑！

<https://www.jaipa.or.jp/p2p/>

ファイル共有ソフト  
見るだけでも  
危険！

## ■古いWi-Fiルーターの見直しプロジェクト

<https://www.jaipa.or.jp/topics/2026/01/2026wi-fi.php>

Wi-Fiルーターを買い替えて  
セキュリティと快適さをアップ！



## 広告

## インターネット接続サービス安全・安心マーク

<https://www.isp-ss.jp/>



私たちは「安全・安心マーク」の普及を信じて、インターネット接続サービスにおける信頼性を確保し、だれもが安心して楽しめるネット環境の実現に取り組んでいます。

1. セキュリティポリシーの確立及び監査制度の導入
2. システムのセキュリティレベル
3. トラブル発生時の対応体制の確立
4. 利用者向け契約約款等の整備と公表
5. ユーザ対応体制の整備
6. 利用者に対する周知・啓発等の取組み
7. 個人情報保護に関する取組み

## インターネット接続サービス安全・安心マーク推進協議会

構成団体：一般社団法人日本インターネットプロバイダ協会  
一般社団法人テレコムサービス協会  
一般社団法人電気通信事業者協会  
一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟

生まれ変わった会報誌「JAIPA Report」もあつという間にVol.3の発行です！

今回は広報PR部会の部長Hさんを中心に、事務局のTさんにもサポートいただきながら準備を進めてきました。各部会・WGのご活躍もあり、あれも載せたい、これも載せたい（嬉しい悲鳴）という状態から形になりました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました！

Vol.3の3、にちなんでのこの3年間を振り返ってみました。

・転職：窓口として各社と連絡を取るなかで、業界の方々の温かさに心を打たれ、もっと業界に貢献したい！と思い今の会社に転職しました。（皆様と出会えるきっかけになったので）あの時の自分、我ながら良い決断をしたと思います。

・JAIPAとの出会い：2023年10月のIGF京都で英語が話せる人がいたらなあ...と耳にし、手を挙げさせていただきました。そこから集いや色々な部会に参加させていただいています。最新の情報や未来のことはもちろんですが、インターネットの歴史を見てきた皆様から話を聞けるのは本当に貴重で、いつもJAIPAの活動を楽しみにしています！

この先の3年、世の中の常識が変わっていき、業界の常識も変わっていくかと思えます。激動の時代、この業界で皆様と交流できることを嬉しく思うと同時に、もっともっと成長しなければと自分にカツを入れて頑張ります！

広報PR部会 H.O.

## JAIPA Report 2026 Apr.(Vol.3)

2026年4月15日発行

## □発行

一般社団法人日本インターネットプロバイダ協会（JAIPA）  
〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-36-1 オダカビル6F  
TEL：03-5304-7511 FAX：03-3379-5530  
URL：https://www.jaipa.or.jp/ E-mail：info@jaipa.or.jp

## □編集

広報PR部会・事務局

## □制作・印刷

フジサービス株式会社  
〒105-0014 東京都港区芝2-20-8

